

AI類似図面検索 新バージョン発売

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長)は、人工知能(AI)を活用して、過去の似た図面が調べられるソフトウェア「AI類似図面検索」の新バージョンを発売した。新たに文字情報を認識できる機能を搭載し、「形状」と「文字」の両面からの検索が可能となった。

新バージョンでは、画像やPDF

テクノア、文字情報の認識機能搭載

などから、活字やレイアウトの文字を抽出し、テキストデータ化する「AI-OCR(光学文字認識)」技術を組み込み、図面に書かれた文字情報が検索キーワードとして利用できるようになった。形状の検索と組み合わせたハイブリッド検索が可能で、必要な図面を迅速に探すことができる。

「AI-OCR」で読み取った文字列をファイル名に指定できる機能も加え、データ管理も効率的になった。導入価格は、初期費用が132万円、月額利用料が4万4千円。